

防災対策

減災対策

防犯対策

① なぜ車用防災ファイルが必要なんですか？

地震災害が発生した場合、交通規制が発令されます。発令基準は、震度 6弱。
(5強から発令される場合があります)

発令までの時間は、災害発生から30分程度で発令されます。すぐに交通規制が始まり、大渋滞が予測されます。火災や、津波、余震、地割れなど、車の移動に支障が起きた場合、車を交通の妨げにならない場所に停車し、速やかに避難しなくてはなりません。

車検証、自賠責保険証の入った現行の車検証いれは、取扱説明書や整備手帳などが沢山収納されておりますので、重量もあります。歩行避難する際は、出来るだけ荷物を少なくし、体力を使わないように身軽な状態で避難することが鉄則です。

日頃から、車内に置いておく物や、避難の際に持っていく物を準備し仕分けしておくことで、災害に対する意識が向上し、結果減災につながっていくと考えております。

② なぜ、車検証と自賠責保険証を持ち出すのか？

避難する場合、窓を閉め、エンジンを止め、車両に鍵を掛けずに、鍵を置いたまま避難しますので、所有者以外の方がドアを開けて車内の持ち物を取り出すことが出来てしまいます。もし、貴重品である証書が持ち出され捨てられたり、破かれてしまったりする場合もあるかと思えます。このような被害にあった場合、非常時の中、再発行までに要する時間は予測できません。

また、盗難にあった場合、転売される可能性もあります。

もし盗難被害にあった場合、原本があれば被害届もスムーズに行えることになり、早く見つかる可能性があると考えております。

車両管理者が災害で負傷した場合においても、レッカー移動を車両業者に依頼するときなどに、車両の識別と所有者であることの証明となります。

③ 車に鍵をかけて避難した場合、どんなことになりますか？

災害時に、車を置いて避難する場合、鍵をかけて、鍵を持ち去ってしまうと、その周辺で火災や、事故の対応を行う際にどうしても車両がその場所にあると不都合になる場合があります。その場合、車を移動させ作業を行うわけですが、もし通常駐車のように鍵をかけられてしまうと、簡単に車の移動が出来ません。この場合、強制的に移動することになるわけですが、その際に車を傷つけることになるかも知れないのです。出来るだけ、キズを付けないようにするには、移動をしやすいように停車しておくこと(人が二人程度通れる車間をおいて縦列駐車)が財産である車のリスクを軽減出来ると考えております。

(非常時に、車に傷が付いても車両保険の適用されません。)

④ 他にどんな使われ方がありますか

自宅の駐車場に車を置いてあっても、車上荒らしや盗難に合うこともあります。

車から降りる際は、「車用防災ファイル」を持ち出す習慣を付けておけば、被害も最小限に抑えることが出来ると考えております。また、複数台の車をお持ちの企業は、スキャナー付きのコピー機をもちいて、名刺ごと読み取れば運行管理にもお使い頂けます。

- ・車上荒らし・盗難の防止。
- ・海外旅行時、長時間車の管理が出来なくなる場合のリスク回避。
(飛行場の駐車場・コインパーキング・自宅など)
- ・車両管理